

長崎新聞



発行所
長崎新聞社
〒852-8601
長崎市茂里町3-1

電子号外



大村工初V

ジャパネット杯春高バレー



【男子決勝、大村工－創造学園】
大村工のセンター徳永（中央）がブロックポイントを奪う＝東京体育館

創造学園（長野）に競り勝つ

ジャパネット杯第64回全日本高校バレーボール選手権（春高バレー）最終日は9日、東京体育館で男女決勝を行い、本県男子代表の大村工は昨夏の北東北総体王者の創造学園（長野）に3-2で競り勝ち、春高バレーとして初の日本一に輝いた。

大村工は第1セットを20-25で落としたが、その後は、エース富永の強打などで主導権を握り、第2セットを25-23、第3セットを25-16で連取。第4セットを22-25で奪われてフルセットに持ち込まれたが、最後は15-11で快勝した。

春高バレーは前回大会

から運営を刷新。開催時期を3月から1月に移行し、記録は2009年までの全日本高校選手権（インターハイ）を引き継いだ。このため、大村工の優勝は記録上、2003年長崎ゆめ総体以来、9年ぶり2度目となる。

【学校沿革】県立大村工高 大村市森園町に1962年創立。生徒数は938人（女子20人）。三根行親校長。校訓は「技術者たる前に、まず人間たれ」。機械科、電気科など7科を備え、第1種電気工事士をはじめ、毎年多数の生徒が各種資格を取得している。

バレーボール部は62年創部。現部員数49人で、2003年長崎ゆめ総体（インターハイ）では日本一に輝いた。OBに08年北京五輪に出場した朝長孝介（長崎北高教）らがいる。

詳しくは10日付
長崎新聞で